



産山村冬の星空観察会

西の低空で接近する 金星と土星を見よう



明けましておめでとうございます。昨年も、コロナ禍で人数制限しての天文台運営でしたが、恒例となった「星宴2022in うぶやま」も現地開催することができ、全国から集まった多くの天文ファンの方々に素晴らしいうぶやまの星空を楽しんでいただくことができました。

天空が広がり、阿蘇・久住・祖母の風景を一望できる一覽三山の台から見える山々には、冠雪もあり厳しい冬の真っ只中です。大変寒いですが、冬が星空は一番きれいに見える季節です。晴れたら肉眼で見える限界の6等星や、天の川まで見える素晴らしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

1月22日から23日にかけて、金星と土星が夕方、南西の低空で接近します。今回はこの観察と、7～8個ある冬の1等星が形づくる冬の大三角と六角形の冬のダイヤモンドを観察します。冬は凍り付くような寒さですが、その分1等星がカノープス（南極老人星）を含めると8個もあり、四季の中では最も素晴らしい星空です。

オリオン座のベテルギウス・全天で一番明るいおおいて座のシリウス・こいぬ座のプロキオンがつくる冬の大三角や、ぎょしゃ座のカペラ・ふたご座のポルックス・こいぬ座のプロキオン・おおいて座のシリウス・オリオン座のリゲル・おうし座のアルデバランがつくる角のダイヤモンドが冬の夜空に輝きます。

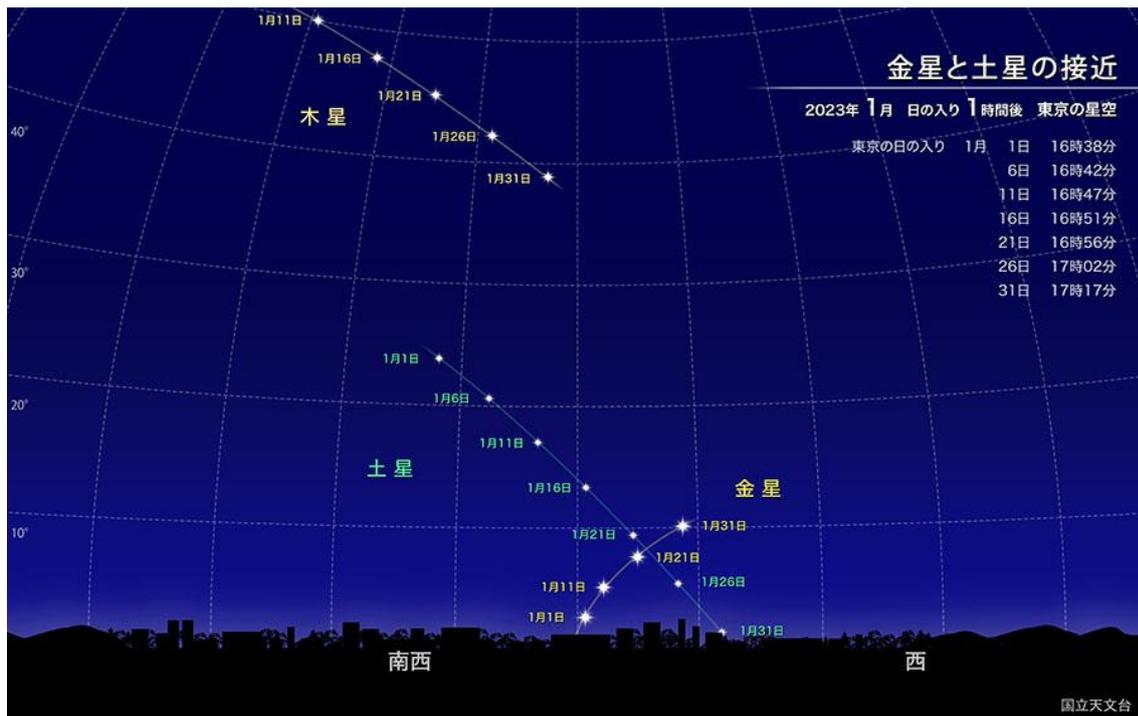
また、M45プレアデス星団（スバル）、星が産まれている現場、オリオン座のM42オリオン大星雲などを天文台の大型望遠鏡や大型双眼鏡で観察します。さらに、西の低空では木星が、南の高い空では火星も輝いています。

外気温は0℃以下になります。天文台のドームは冷たい北風をしのげますが、天文台内部は観測機器保護のために暖房はしませんので防寒対策は十分にしてお越してください。

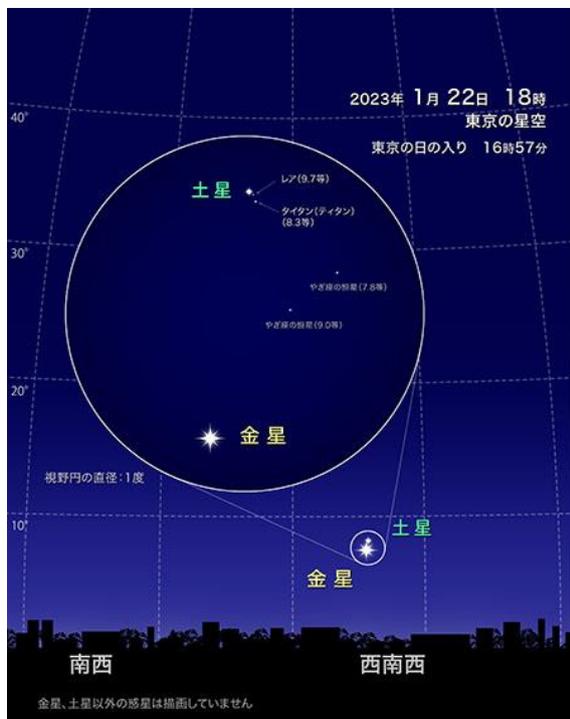
期 日	: 令和5年1月22日（日）
場 所	: うぶやま天文台 (熊本県阿蘇郡産山村大字大利585 ファームビレッジ産山内)
時 間	: 午後6時00分～午後10時00分
観察対象	: 次ページに記載
持 参 物	: 防寒着（天文台内部は暖房はしません） 星座早見盤（一般参加者で持ってない方には当日配布します）
料 金	: 村民の方：全員無料 村外の方：高校生以上300円 小中学生200円 未就学児無料

※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。
天候不良などで実施できない場合は延期します。その場合は、再度お知らせ端末にて連絡します。
上記につきまして産山村外の方は、産山村教育委員会(0967-25-2214)までご連絡下さい。

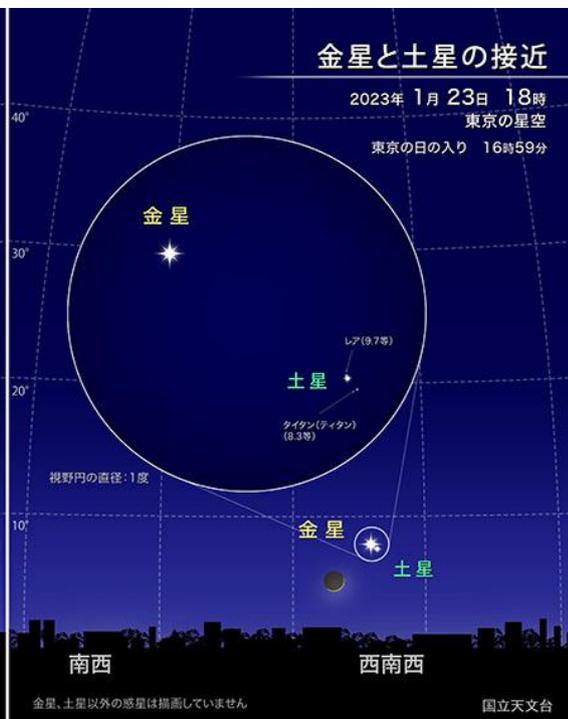
今回の観察対象



日没後、西の低空で金星と土星の接近
※金星と土星の接近が見られるのは 18時~19時までの早い時間帯です。



1月22日 18時



1月23日 18時



M45 プレアデス星団 (スバル)



オリオン大星雲 (M42)



冬の大三角



冬のダイヤモンド